

大会速報

国労水戸地方本部
第72回定期大会
速報

代議員の発言から

各代議員から書面での手続きにより資格審査発表で大会が成立したことを承認された。

大会は議題に沿って、大会延期が承認され、10月3日に行われた財政小委員会から2019年決算、2020年の予算案について承認されたことが報告された。代議員の発言は書面によって報告された。



議長挨拶から今のJR東日本の株価が昨年と比較して半分にわり投資家が離れている。

経営悪化から「グループ経営構想・変革2027」の合理化が前倒しで行われている。

職場で社友会を抜けて組合に入ったら異動させられるような人事があった。組織拡大を考える時に克服していかなければと思う。

佐々木代議員（勝田地区分会）

組織拡大を重点に班、分会で活動をしてきた。

組合員から集まる場を設けて欲しい声もあったが思うように活動が出来なかった。

今年の新入社員は社友会に入会している。対話行動を通じて組合員の声や社員の不平不満を取り上げる取り組みを行う。

松田代議員（土浦地区分会）

毎月定例の班集会を開催している。駅での問題点を職場に持ち帰り若手社員・プロパーと話をする根拠としてきた。

社員代表選に立候補を決定し、常磐線7駅、水戸線7駅の各駅に職場の問題点を聞きながら足を運んだ。

結果、社員代表に選出され「労安委員会の充実・職場巡回の必要性」を「労安法」を根拠にして実現した。月1回の職場巡回に同行し問題が出されたことを、

班集会での議論につなげています。

成果として勤務（出張）扱いで巡回している点が一番の改善点になっている。若手プロパー社員との信頼関係を作り、オルグ行動を検討している。

塚本代議員（いわき地区分会）

原ノ町運輸区は、ほとんどが地元以外（単身赴任）であり、寮、借上げのアパートに住んでいる。

自宅へ帰るときは帰還困難区域や除染されていない場所も通ることもあり不安

である。

最近の小動物（イノシシ）の衝突事故が多く、主に帰宅困難区域で発生している。放射線、病気等々で不安である。

新型コロナウイルスでボーナスや賃金抑制に不安の声も聞かれる。

門馬代議員（いわき地区分会）

新規採用者行動は現役組合員が少なく思うような行動が取れてません。

全線開通に伴う問題集約も出来なかった。

（裏面へ）

2020年度地方委員

西山 秀樹	(土浦地区分会)
品川 秀典	(土浦地区分会)
大槻 正広	(土浦地区分会)
小倉 好勝	(水戸地区分会)
皆川 学	(水戸地区分会)
草野 正彦	(水戸地区分会)
出羽 正明	(水戸地区分会)
佐々木 栄一	(勝田地区分会)
市井 優	(勝田地区分会)
寺門 通	(大子地区分会)
門馬 正行	(いわき地区分会)
佐藤 義人	(いわき地区分会)
関内 正人	(いわき地区分会)



集まる場の必要性は、みんなが持っています。できるだけ取り組んでいきたい。

草野代議員（水戸地区分会）

テーブルによって1日の勤務が終わらない社員が多くなります。

支社内全エリアが担当で現地直行・直帰が多く発生している。他支社と比較して仕事の難易度が高い。そのため退職者・病欠者が出ている。しかし会社は要員補充がされず業務を回している。

班集会在出来ない等、集まらない状況にあるが懇親会を計画している。

大槻代議員（土浦地区分会）

保線班では継続して問題点、悩みを出し合い班集会を開催している。

定年間近で希望通りのエルダー先になるのか、賃金を上げてほしい等の意見もある。

これからも月1回は顔を合わせ、班で意思統一をし国労が中心となり現場長へ要求改善を求めていく。

掲示板で国労にも若い社員が加入しているとアピールしている。

コロナの影響で夏季手当は減らされ、年末手当はどうなるのか不安である。

賃金労働条件は労使で話し合っただけで決めるという話を組合未加入者へ声かけをしていきたいと思えます。

皆川代議員（水戸地区分会）

今年2月、東労組から国

労への復帰者を勝ち取りました。

東労組が新組合に移行する動きがあった時、新組合に違和感があったそうです。そのことを国労の仲間に相談するうちに、国労に戻ってきたらと話をして復帰した。

職場代表選挙は保線技術センターで立候補し、組合数を超える票を獲得した。

職場で普段の若い人達との関わり、会社に不満を持っている結果だと思う。

コロナ感染拡大で執行委員会が中止になったり、レクレーション、全体集会も開催できなかった。

組織強化・拡大について職場での関りが大切で「どういう方向性が良いのか」「分会もどういう関りを持つのか」など分会も執行委員会の中で議論をしていく。

東鉄工業に在るがプロパーが育っていない。中堅社員が若年退職していき、残っているのは資格を持った若い社員になっている。

プロパー社員は、仕事で

疲れが取れない。いつ辞め

るか考えている。

パートナー会社はプロパーが育たない。エルダー社員を充てにしているのが現状です。

関内代議員（いわき地区分会）

ダイヤ改正により、いわき以北の列車巡回で帰りの時間が遅く不便を感じる。我々が不便と感じているのに地域住民の足として「どうなのか」と思う。

教育・要員について業務のほかに現場教育等々負担が増えています。仕事を覚え2〜3年で異動になる。

安全意識がない職場になる。

今回導入されたGM A Cについて教育・訓練があるが不安の声が聞かれる。

寺門代議

員（大子地区分会）

組織拡大は組合未加入者が増加の中、「組合の必要性を訴えながら」未加入者に関りを持って取り組んでいる。

各職場で業務量が増えて仕事に追われている。保技セでは地域の苦情や支障物処理対応で現場の保安体制も十分でない。

M T S 職場では車両の検査、入替えがM T Sに移管されたが労働条件は改善されていない。

新型コロナウイルスで集まれない状況が続いていますが少しでも集まれる体制を作ります。

正人 泰男 廣一文 秀俊 富世 勝一

堀 大賀 沼澤 黒坂 下泉 塩澤 大津 大貫

執行委員長

執行副委員長

書記長

新執行部

- 執行委員長 堀 大賀
- 執行副委員長 沼澤 黒坂
- 書記長 下泉 塩澤
- 執行委員 大津 大貫
- 会計監査